

整理No.2018-22		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 11月 2日(木) 10時 45分 天候(晴れ) 温度()℃湿度()%			
災害区分		☒ 不休災害 ☐ 休業災害 (休業:△日)			
被災者	部門	技術部門		雇用形態 ☒ 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	42歳	性別: ☒ 男 ☐ 女	勤続年数	24年7ヶ月 経験年数 年 7ヶ月
	傷病名	薬傷			
	傷病部位	目			
災害発生状況	①被災者はエアレスポンプの内部配管をエステル溶剤で循環洗浄するため、ホッパーにエステル溶剤を満たしてポンプの電源を入れた。		状況概略(写真orイラスト)  赤丸部位より漏れて 眼に入った		
	②電源を入れた直後にエアレスガンのジョイント部から溶剤が噴出し、目に入った。作業中は保護メガネを着用していた。				
	③すぐに流水で目を洗浄し、医務室へ向かったが、目がかすんだため近隣の病院で受診した。				
	④受診の結果、溶剤が目に入ったことによる薬傷と診断され、目の洗浄処置を受けた。				
	⑤その日は安静の為そのまま帰宅し、翌日より出社し業務を行なった。				
	災害の型 ^{※1)} : 8 有害物との接触				
	起因物: エアレスポンプ				
作業の形態: 定常、 ☒ 非定常、その他()					
特記事項 特になし					
原因分類	1.人的要因(man):KY不足				
	2.物に関する要因(machine):塗装ガンとホースの接続不十分				
	3.環境要因(media):特に無し				
	4.管理的要因(management):作業手順無し				
対策	①電動エアレスについての作業手順書を新規作成した。				
	②使用前にジョイント部ボルトが緩んでいないことを確認する。				
	③塗装ガンとホースを接続するときは、接続部を最小限となるようにする。				
	④エアレス塗装作業時は、万一の噴出しを想定し、保護面付きのライトキャップを着用する。				
対策分類 ^{※2)} : 1-2 災害・事故の想定と対応、1-6 教育、2-4 危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)